

中学生の皆様へ

愛知総合工科高校は校舎を新設し開校 7 年目の学校です。本校のアピールポイントとして、とてもきれいな校舎で学校生活を送れることが挙げられます。北の平和公園と南の東山公園の自然豊かな環境をつなぎ、東山通の美しい街並みを作るというコンセプトで建設された外観は大変美しく、「愛知まちなみ建築賞」「BCS 賞」などを受賞しています。初めて本校を訪れた方々は「ここは大学か？」と驚かれます。また外観だけでなく、内装もきれいで特徴的です。トイレも当然新しくきれいで、実習用の機械は最新型で数も多いです。コンクリートの打ちっぱなしを多く使いお洒落で、剥き出しの配管が可視できるように設計されています。実際に授業で使われており、まさに「生きた教材」となっています。

更に素晴らしいのは本校の生徒で、新しい学校を、美しいまま、次の生徒に使ってもらおうと考えてくれています。通常の掃除は当然真剣にやってくれますし、清掃ボランティアには 150 名程の生徒が例年参加してくれます。校舎内にゴミが落ちていることはほとんどありませんが、それは落ちているゴミを、嫌な顔せず拾ってゴミ箱に入れてくれる生徒が多くいるからかもしれません。トイレのスリッパ等もきちんと揃えてくれる生徒もよく見かけます。自分のことは当然のようにやり、他の生徒や学校のことを考えて生活してくれている、つまり本校の生徒は社会に出ても役立つ力を身に付けてくれているのだと感心させられます。

話は少し変わり、個人的には、夕暮れ後の若干ライトアップされたかのように映る校舎が美しいと感じ、校外から眺めるのが好きなのですが、私には今でも鮮明にその光景が浮かぶ思い出があります。それは、本校には南棟と北棟の間にテラスがあり、眺めは最高、風は気持ちよく、お弁当を食べたり、友達と語り合ったり、素敵な場所です。その場所での 4 年前の出来事です。本校修学旅行でお世話になった台湾、台北市立木柵高級工業高校生が本校に訪問してくれた際に、記念写真をそのテラスで撮っていただきました。撮り終わって振り向くとテラスから見える教室のベランダには本校の生徒が全員出てきて手を振っているというサプライズがありました。圧巻の光景で木柵高校の生徒は涙を流して感動してくれました。その光景が私は一番の思い出です。

皆さんも本校に入学後し、このように恵まれた環境で勉強と部活動に精一杯励んだり、自分だけの「推しスポット」を探したり、うれしいこと、苦しいこと様々な経験をして成長し、数々の忘れられない思い出を作ってください。

保健部 石原 照三